

Q & A

フル規格新幹線の整備にあたっては、いくつかの課題もあります。
整備の実現には、それらの課題を乗り越える知恵や熱意が求められています。

Q. 新幹線のルートは、どのようなルートになるのか？

A

政府の基本計画では、奥羽新幹線は、福島市を起点に山形市付近を經由し、秋田市を終点に、羽越新幹線は、富山市を起点に新潟市、秋田市付近を經由し、青森市を終点としています。具体的なルートについては、全国新幹線鉄道整備法に基づく調査が行われた上で、最終的に決定されることになります。

Q. 新幹線が通らない地域にメリットはあるのか？

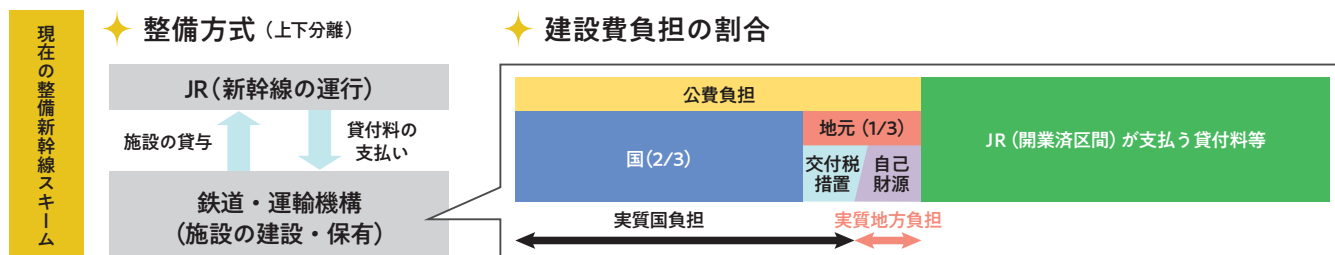
A

新幹線の整備によって、県外からの来訪者を含めた交流人口が拡大します。新幹線が停車しない地域にもその効果が波及し、観光客など交流人口の増加や地域活性化が期待できます。また、新幹線停車駅と円滑なアクセスを確保することによって、目的地までの到着時間が短縮されます。

Q. 新幹線を建設するには、莫大な事業費がかかるのではないか？

A

現在の整備新幹線スキームでは、国 2/3、地元 1/3の費用負担になっていますが、さらに地元負担を引き下げる交付税措置があります。実質負担は公費の1～2割程度となり、在来線改良の場合と比較しても、かなり負担を抑えることができるのです。



Q. 実現に向けて私たちができることは？

A

フル規格新幹線の整備は、地域社会を劇的に変化させる可能性があります。秋田の未来に向けて、国に対するアクションを起こすためには、私たち秋田県民の熱意が必要です。秋田県及び秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会では、奥羽・羽越新幹線の実現を目指し、活動をおこなっています。詳細は下記までお問い合わせください。

奥羽・羽越新幹線に関する
お問い合わせ先

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課

〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目 1-1

TEL 018-860-1282 FAX 018-860-3879



秋田から実現しよう！

奥羽・羽越新幹線

O U U E T S U S H I N K A N S E N



みんなの力が必要だワン！

フル規格の奥羽新幹線・羽越新幹線の実現に向けて

秋田県、秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会

秋田から実現しよう！



奥羽・羽越新幹線 OU UETSU SHINKANSEN

奥羽新幹線、羽越新幹線とは？

秋田県には、奥羽新幹線（福島市～秋田市間）、羽越新幹線（富山市～秋田市～青森市間）という、**政府が定めたフル規格の新幹線構想**があります。この構想が実現すると、目的地までのスピードアップや高い安全性・安定輸送が期待できます。

羽越新幹線

起 点：富山市
終 点：青森市
主な経由地：新潟市付近
秋田市付近

【奥羽・羽越新幹線 ルートイメージ】

奥羽新幹線

起 点：福島市
終 点：秋田市
主な経由地：山形市付近

今こそフル規格新幹線が求められています！

震災で再認識された 「日本海国土軸」の重要性

東日本大震災では、被害の少なかった日本海側の幹線鉄道が、首都圏や西日本との旅客移動や物流を担うリダンダンシー（代替）機能を発揮。改めて日本海国土軸の必要性が見直されました。定時制、速達性、大量輸送性に優れたフル規格新幹線は、幹線鉄道ネットワークの基軸として期待されています。

地域の地方創生を担う フル規格新幹線

現在、日本では東京圏への過度な集中を是正し、地方が活力を取り戻していくことが求められています。そうした中でフル規格新幹線は、全国との交流を促進し、地方の自立的発展を支えるなど、今や地方創生実現のためになくてはならない社会基盤です。

期待される 昭和48年組の整備

昭和47年までの基本計画はほぼ完成の目処が立っており、今後は奥羽・羽越新幹線をはじめとする昭和48年組の整備について議論されるようになるでしょう。同年組のリニア中央新幹線はすでに着工されています。今こそ、次を目指した取組を始めていかなければなりません。

昭和47年に基本計画に位置付けられた新幹線の路線

東北新幹線	盛岡～青森	2010年12月開業
北海道新幹線	青森～新函館	2016年3月開業
	新函館～札幌	2030年度末開業予定
北陸新幹線	長野～金沢	2015年3月開業
	金沢～敦賀	2022年度末開業予定
	敦賀～大阪	2046年春頃開業予定
九州新幹線	博多～鹿児島	2011年3月開業
	武雄温泉～長崎	2022年度から可能な限り前倒して開業予定

※未着工の区間も一部あります。

昭和48年に基本計画に位置付けられた新幹線の路線

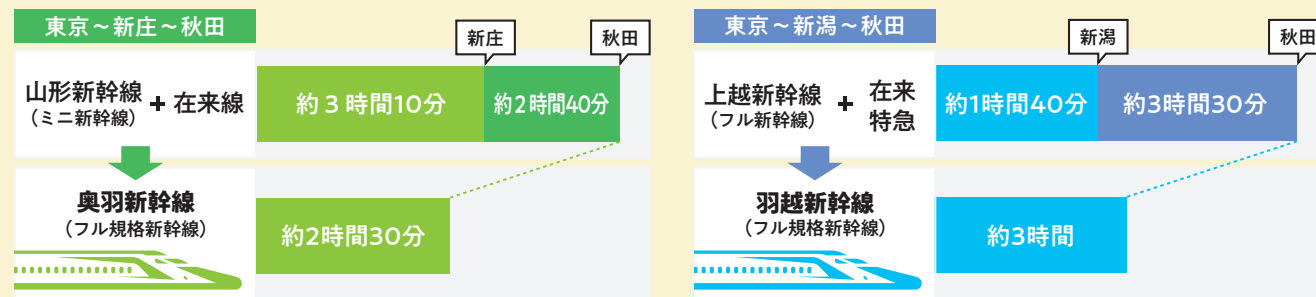
奥羽新幹線	福島～秋田	四国新幹線	大阪～大分
羽越新幹線	富山～青森	四国横断新幹線	岡山～高知
北海道南回り新幹線	長万部～札幌	東九州新幹線	福岡～鹿児島
北陸・中京新幹線	敦賀～名古屋	九州横断新幹線	大分～熊本
山陰新幹線	大阪～下関	中央新幹線（リニア）	東京～名古屋
中国横断新幹線	岡山～松江		名古屋～大阪

実現によって見込まれる効果

移動に関わる利便性向上

東京や沿線地域との時間距離が短縮され、滞在時間が拡大します。

時間短縮効果イメージ 【注】他のフル規格新幹線を参考に試算したイメージです。最短の所要時間を記載しています。



※「フル規格新幹線」とは、主たる区間を200キロ/時で走る新幹線で、スピードアップや高い安全性・安定輸送が期待できます。

※現在の「秋田新幹線こまち」は、在来線区間の線路や車両を改良したもので、速度や安定性に制限があります。これらはフル規格新幹線と区別して「ミニ新幹線」などと呼ばれます。

交流人口の拡大

地域間の時間距離の短縮等により、観光などによる交流人口の拡大が期待できます。さらに、地域間における新たな企業連携の創出や沿線地域のブランド力向上など、様々な分野での活性化が期待できます。

安全・安定輸送

フル規格新幹線は踏切を設けない高架や立体交差構造のため、多くの乗客を安全かつ安定的に運ぶことができます。雪による輸送障害にも強く、定時制に優れた交通機関です。